

個人のお客さま向け

モバイルアプリ上での各種諸届メニュー提供開始のお知らせ

株式会社 SBJ 銀行（本店：東京都港区、代表取締役：富屋 誠一郎）は、個人のお客さま向けにモバイルアプリにおいて各種諸届メニューの提供を開始いたしました。

従来、郵送または店頭にてお手続きいただいていた各種諸届が、モバイルアプリへの必要事項のご入力やお客さまのスマートフォンで本人確認書類や顔写真を撮影するだけで、お申込みを完結させることが可能となりました。

当行は、本サービスの一部に株式会社 Liquid（本社：東京都千代田区、代表取締役：長谷川 敬起、ELEMENTS グループ）が提供する「LIQUID eKYC」（オンラインで本人確認を完結するサービス）を利用しており、郵送では 1 週間程度かかっていたお手続きを最短 1 営業日に短縮できるようになります。

当行はこれからもさらなる金融商品やサービスの拡充に努力し、真にお客さまのお役に立つ「愛される銀行」を目指してまいります。

1. サービス提供開始日

2021年6月14日（月）

2. 提供サービス概要

サービス区分	サービス種類
SBJ ダイレクト関連	お客さま番号再通知お申込み
	ログインパスワード初期化お申込み
	PIN 番号初期化お申込み
	トークン再発行お申込み
	セキュリティ媒体パスワード誤入力回数初期化お申込み
	セキュリティ媒体紛失登録・解除
証明書関連	預金残高証明書発行お申込み
	預金取引明細書表示

3. ご利用方法

- ・既に当行モバイルアプリをご利用いただいているお客さまは、ログイン後に各種メニューをご利用いただけます。
- ・新たにご利用いただくお客さまは、iOS では「App store」から、Android では「Play store」から、無料でインストールし、ご利用いただけます。

【iPhone 端末からはこちら】



【Android 端末からはこちら】



モバイルアプリご利用ガイドは[こちら](#)

4. ご留意事項

- ・個人のお客さまが対象です。
- ・各種諸届メニューはモバイルアプリでのみご利用が可能です。当行インターネットバンキング、スマートフォンバンキングではご利用いただけません。
- ・一部メニューのご利用には当行指定の顔写真付き本人確認書類が必要となります。

以上

◆本件についてのお問い合わせ先◆

SBJ 銀行コールセンター TEL: 0120-015-017 (通話料無料)

受付時間：平日 9:00～18:00 (土日・祝日・年末年始を除く※)

(ご参考)

■株式会社 SBJ 銀行について

SBJ 銀行は、Shinhan Bank Japan の略で、韓国の大手銀行である新韓銀行を中核とする「新韓金融グループ」（韓国証券取引所およびニューヨーク証券取引所に上場）の日本現地法人です。新韓銀行の海外拠点として 1986 年に日本進出後、外資系銀行では 2 番目に国内銀行として金融庁の許可を受けました。2009 年 9 月の開業以来、全国展開し、預金・貸出等の金融商品およびサービスを提供しています。SBJ 銀行の円預金は預金保険制度の対象となりますので、安心してお取引いただけます。

■株式会社 Liquid (ELEMENTS グループ) について

Liquid は、生体認証を活用し、認証を空気化することで、世界 77 億人全ての人があるがままの状態であらゆるサービスを簡単・安全に使える、なめらかな社会の実現を目指しています。

また Liquid では、金融の取引時確認（犯罪収益移転防止法）、中古品買取（古物営業法）、携帯電話契約（携帯電話不正利用防止法）、不動産取引、CtoC 取引等における本人確認のオンライン化の流れに合わせ、業界や導入事業者をまたがって横断的に不正検知を行う仕組みを提供し、利便性とセキュリティの両面を追求して参ります。

WEB サイト：<https://liquidinc.asia>

■LIQUID eKYC の導入目的と 6 つの特徴

多くの導入事業者様が、本人確認（アカウント開設等）のリードタイム短縮、稼働率向上、コスト削減、ペーパーレス化、店舗省人化、セキュリティ向上、法令順守などを目的として LIQUID eKYC（および LIQUID Shield、LIQUID Auth）を導入しています。

- (1) 独自の AI 技術・最高水準の顔認証精度・OCR 技術等により、低い離脱率（約 3.0%）、低い本人確認不備率を実現
- (2) 唯一の共通プラットフォームによる継続的な AI 学習・改善で、高精度の技術を更に成長。
- (3) 独自の特許技術により、他には真似のできないセキュアな本人確認を実現。
- (4) 接続が容易な API 連携や、完成度の高い管理画面を標準装備しているため、最短 3 週間程度でリリース可能な導入のしやすさと低コストを実現。
- (5) 企業横断の不正検知サービス「LIQUID Shield」。容貌（顔）、氏名、生年月日、スマホ端末情報を一元的に紐づけ企業業界を横断して使いまわしなどの不正を検知。また、IP アドレス判定、反社チェック、不正電話番号、不正住所等の照合も可能。
- (6) eKYC 時代の統合認証プラットフォーム「LIQUID Auth」。eKYC で撮影した容貌（顔）を用いた取引時の顔認証（Auth Face）や、スマホ端末認証、キャリア認証などを組み合わせでセキュリティと利便性を両立。

※ LIQUID Shield、LIQUID Auth にも独自の特許技術を有しております

以上